



第2巻
第12号

平成24年6月27日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県太田市の太田吉沢ゆりの里

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 神奈川県大学病院連絡会の皆様へ
3. 現地・事務所感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

<現地> 現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。
中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、
災害対策本部までお気軽にご相談ください。

特に、7月の第2週については、まだ応募がありません。

<事務所> 平日のみの活動ですが、1~2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

次回は7月21日（土）18:00～協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、7月18日(水)までに災害対策本部まで、
電話やメールでお寄せ下さい。

災害支援 SW 報告会について

6月13日(水)18:00～20:00、亀田総合病院にて災害支援 SW 報告会が行われました。

千葉県医療社会事業協会 南総地区勉強会との共催で開催しました。

亀田総合病院のSWと元現地担当者の佐藤杏氏からの活動報告がありました。

参加者はソーシャルワーカー、看護師、介護福祉士、ケアマネージャー、保健師など様々な
職種の方で、約80名集まりました。



書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。



※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷ヂンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。
応援よろしく願いいたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

平成 24 年 6 月 22 日

神奈川県大学病院連絡会の皆様へ

平成 24 年 6 月 9 日、日本医療社会福祉協会が復興支援をおこなっている石巻市に行つて来ました。現地では被災住民を対象にした健康調査をおこなっており、神奈川県大学病院連絡会の皆様にもボランティアとして協力して欲しいと要請が日本医療社会福祉協会よりございましたのでご案内いたします。

現在、石巻市の復興はガレキ撤去など進んでいましたが、水没地域もあり、市民病院は震災当時のままでした。震災から 1 年が経過し、被害の大きかった住民とそうでない人の落差や心の傷なども明確になり、大きな問題になっていました。

現在石巻では、「石巻医療圏健康・生活復興協議会」を立ち上げ、仮設住宅の一角でグループホームとして使っていた市の建物を借り受けて事務所を置き、そこに医師、看護師、保健師、心理職、救命救急士、SW、ボランティアなどがともにチームを組み活動しています。日本医療社会福祉協会はそのチームの SW として継続支援を実施しています。

現在行っている活動の 1 つに住民の心と身体の状態を確認する調査があり、調査員が家庭訪問して聞き取っていました。皆様に協力をお願いしたいのは、調査票の SW に関する欄を見て、訪問するのか、電話するのかなど、どのような支援がよいかアセスメントをしたり、実際に支援する仕事です。SW の経験年数は問われていないので、どなたでも参加できます。

現地の状況は日々変わりますので、具体的なことは現地に確認しながらおこなうことになります。活動日数はできれば数日行ける人が望ましいですが、短期でも良いので、できるだけ多くの SW に来てほしいとのことでした。

交通費および宿泊費は協会が負担します。宿泊場所は、男性は中里のサポートセンターに部屋があり、救急救命士など他の方々と一緒に合宿生活(?)していました。女性は協会が借りたアパートがあり、5 人まで宿泊できます。どちらも、たいそう綺麗なところでした。足りない場合はホテルも用意してくれるそうですが、ちょっと場所が離れています。

石巻は仙台から高速バスで 1 時間あまり。

皆様の熱きご支援を、よろしく願いいたします。

帝京大学医学部附属溝口病院
宮内佳代子

現地感想文

6月18日(月)

今朝の宮城沖地震は、今までとちょっと違い、また大きな被害が！と一瞬身構えました。「備え」について、つい緩みがちな最近、気持ちを新たにしました。台風の影響がたびたびの高知メンバーも、地震・津波は想定しなければいけない災害、と貴重な体験をして、業務にも力が入っています。

6月20日(水)

昨夜の台風、石巻市一部地域の避難勧告、一昨日、今朝の地震と、対応にバタバタしています。事務所が2か所になった後のシステム管理もまだできておらず、日報送付が遅れました。今週末には、調整できるかと思えます。たくさんの”ビックリ”に見舞われた高知グループ。にもかかわらず「また来たいです！」と、関わったケースにもたくさん学んで帰られました。次のグループへの引継、期待します。

6月21日(木)

今日は石巻復興支援協議会の会議。夜7時すぎ、会議が終わり外に出ると、真っ赤な夕空が。日が長くなり、夏も間近。去年は瓦礫からセミほどの蠅が大発生したそうですが、被災地域の瓦礫はほとんどなくなり、臭いもさほど強くありません。去年とは違う復興の夏が、被災者の皆様それぞれに来ますように。

6月22日(金)

朝の中里サポートセンターミーティングで、協力員でご参加頂いている横浜労災病院の藤田さんから、労災についてのレクチャーを頂きました。アセス班の方々からもいくつも質問があり、重要な社会保険・社会資源として改めて認識を深められたようでした。

6月23日(土)

チーム神奈川の協力員お二人が活動終了。

要継続フォローとなったケースについて、2週間後に神奈川からご参加の方に引継ぎのご指名が。現地員が手一杯なのに配慮頂いたのと同時に、関わったケースは心が残るね、とも仰ってました。チームとして・ご個人として、継続ご参加に感謝しつつ、ますます期待致します。

事務所感想文

6月19日(火)

東(初台リハビリテーション病院)

久しぶりの活動でした。その間の報告書やメールに目を通しながら、やはり事務所に来ないと得られない情報や感じられない空気があるなあと思いました。これからも出来る範囲で続けていきたいです。

6月20日(水)

一原(自宅)

昨年10月より事務所担当職員として働かせていただきましたが、本日をもちまして退職することになりました。昨年4月より協力員として参加するようになってから今までたくさんの方との出会いがあり、大変お世話になりました。事務所は三輪さんが引き継いで下さっています。今後ともよろしくお祈りします。

6月22日(金)

富永(大倉山記念病院)

久しぶりの事務所作業は1人で行うのはやはり大変だなあと改めて思いました。でも三輪さんと2人で多くの作業をすることができました。今月は現地活動していた経験も活かして、現地とも電話ができて良かったです。佐原会長にいろいろ質問されドキドキしました。また来月来ます！

一原さん、本当にお疲れ様でした。たくさんの素敵な出会いが糧になることでしょう！！